

学校関係者評価まとめ (最終)

* 学校関係者評価委員会で意見を取りまとめてもらうのが望ましい。

令和6年 3月11日

校番 (1 3) (三原市立沼田西小) 学校

1 学校評価の妥当性についての評価

次の評価項目について、学校関係者評価委員からの評価を集約し、記録する。

	評価項目	評価	備考
I	本校の学校評価の項目は適正である。	4	
II	本校の取組は適正である。	4	
III	本校の自己評価結果は適正である。	4	
IV	本校の評価結果を踏まえての改善策は適当である。	3.9	
V	本校に対する理解が進んだ。	4	

4 : そう思う。 3 : どちらかというと思う。

2 : どちらかというと思わない。 1 : そう思わない。

2 学校評価活動についての意見

- 保護者や地域のみなさんの協力により学校づくりを進めるという目的のためには、よい制度だと思えます。
- 目標を定め努力する姿は素晴らしいです。また、確実に目標を達成していると思います。
- 先生方も評価ばかりにとらわれずに、のびのびと教育することに喜びを感じてストレスないように望みます。
- 教頭、各主任からパワーポイントや資料をもとにわかりやすく、的確な説明を受け、また、質問にもていねいに対応して下さった。
- 自己表の結果と課題は適正に分析され、改善方策が具体的に示されている。さらに来年度に期待したい。
- 学校教育目標に対してミッション・ビジョンも明確であり、評価改善方策も適正である。
- 自主性を高めるためにも読書(図書活動)は大きな要素である。評価項目として入れるべきかは分からないが、啓発項目として掲げてみてはどうか。
- 項目ごとに指標を基に適正に評価されています。
- 学校目標達成に向けて教職員みんなが同じ方向に向けて手立てを考え、実践されている。学校評価の分析もていねいにして、説明も分かりやすかった。

3 学校教育活動全般についての意見

- PDCA サイクルにより学校運営をされていることがよくわかりました。
- 今の時代、開かれた学校というのは難しいのかもしれませんが。もう少し、地域の人達とつながるよう心掛けてほしい。
- パンジーの鉢植え、校舎内の清掃、子供達の作品掲示など、環境が整備され子供達も落ち着いて熱心に授業に取り組んでおり、校長先生を中心に先生方が一生懸命取り組んでおられることを感じた。先生方の授業力がアップしたように思われうれしいです。
- 子供の教育に関して、学校が担うウェイトは最大であるが、家庭(親)や地域の関りも少なくない。家庭(親)地域の協力度を高めることを啓発すべきである。
- 学習環境が整えられた中、ねらいに迫る取組がされています。
- 体験学習を目標と照らしあわせて児童が目的をもち実践できるようにされている。
- 「確かな学力の育成」「豊かな心の育成」「健やかな体の育成」「信頼される学校」4つの項目について目標を細かく設定し実践されている。
- 達成された目標を来年度も目標として継続させてほしいです。